

丹波地域環境パートナーシップ会議 情報誌 Vol.5



内容

丹波地域の希少種紹介…P2～3



活動報告

鴨庄オオムラサキ飼育の会…P4

篠山自然の会…P5

妙高山のクリンソウを守る会…P6

祝！環境保全功労者知事表彰を受賞されました…P7

お知らせ



編集・発行

丹波地域環境パートナーシップ会議

事務局：丹波県民局県民交流室環境課

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原 688

☎：0795-73-3774

FAX：0795-72-3013

☆皆様からの寄稿・ご意見・ご感想などお待ちしております！



丹波地域の珍しい動植物

セツブンソウ
(兵庫県版レッドデータブックCランク)



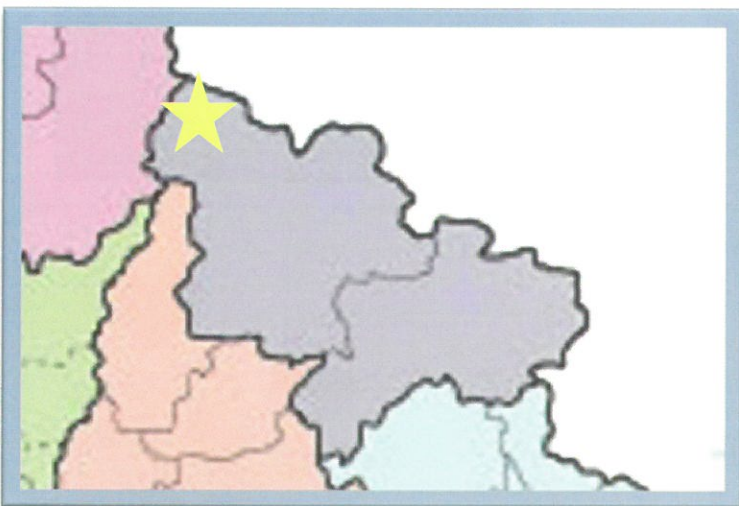
2月～3月にかけて咲くキンポウゲ科で、節分の頃に咲くことからその名が付けられた。春を告げる花としても知られている。

透明感のある白い姿をあらわし、雑木林や山野で見ることができ、自生種の開花は、節分より少し遅く3月上旬頃が見頃。

高さは2～15センチぐらいで、茎（くき）の先に1輪の花がつく。

環境省のレッドリストの準絶滅危惧、兵庫県版レッドデータブックの絶滅危惧Cランクに登録されている。

主な生息区域
丹波市：青垣町



活動団体

丹波市：江古花園運営委員会

丹波市：森自然環境保全友の会

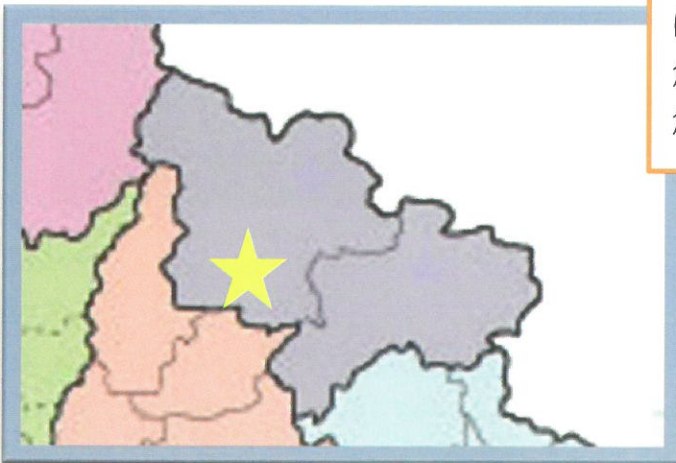
ナガレホトケドジョウ
(兵庫県版レッドデータブックBランク)



活動団体

丹波市：青垣いきものふれあいの里

主な生息区域
丹波市：山南町谷川



ドジョウ科フクドジョウ亜科に属し、全長6～7cm程のドジョウの仲間で、体は全体に淡褐色で、暗色の斑点が密集している。口ひげは8本あり、上唇外側のひげは口角のものと同じ程度かやや長い。背びれの基点は腹びれの基点よりも後ろにあり、体全体が太短い感じがし、ほかのドジョウの仲間とは違った印象を受ける。

和歌山県から岡山県までの瀬戸内海側および兵庫県の日本海側と徳島県に分布する。山地の溪流に生息し、生態については不明な部分が多い。

一方、姿形がよく似たホトケドジョウは低い山地や平地の流れのゆるい細流に生息するが、分布が重なるところもある。また、ホトケドジョウとの区別は困難だが、吻部やヒレの斑紋によって見分けることができる。環境省のレッドリストの絶滅危惧IB類、兵庫県版レッドデータブックの絶滅危惧Bランクに登録されている。



オオムラサキ放蝶会の報告について

鴨庄オオムラサキ飼育の会

私たち「鴨庄オオムラサキ飼育の会」は、オオムラサキの舞う里づくりを目的に、平成25年に活動を始めました。

- オオムラサキの飼育に成功し、オオムラサキの舞う豊かな里づくりを目指す。
- オオムラサキ生息に必要なクヌギ・コナラ・アベヌキ・桜・栗などの雑木林を整備し、美しい里づくりに取り組む。
- 情報を発信し、地域のPRに努める。鴨庄の知名度を高め、元気な集落づくりを目指す。

今年度は、7月1日(土)に鴨庄オオムラサキの森公園において、第4回オオムラサキ放蝶会を開催しました。オオムラサキの幼虫、さなぎ、抜け殻さなぎなどを観察したあと、15名の参加者の手により国蝶オオムラサキが放蝶されました。



第4回オオムラサキ放蝶会の様子

篠山自然の会

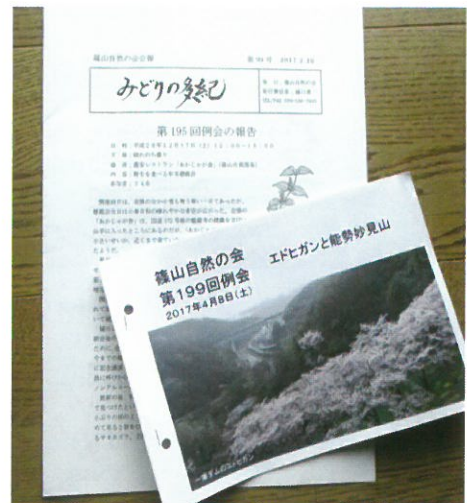
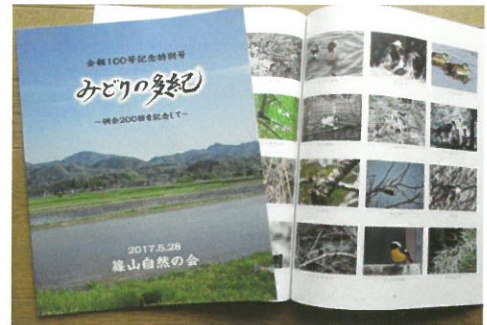
会長 樋口 清一

平成 12 年に結成して、今年の 5 月の例会は 200 回になりました。月 1 回の例会と隔月発行の会報「みどりの多紀」が 100 号になるのを記念して、100 号記念特別号を発刊しました。会の足跡を編集する意味で、過去の観察会の場所、篠山注目すべき草木・樹木・昆虫・鳥・魚・両生・爬虫・地層などの写真も入れました。編集してみると、例会 200 回の足跡の重さ、大きさを改めて感じました。

自然観察と特に自然調査は、回を重ねることが大事と考え、ヒメボタル、カスミサンショウウオなどは 10 年以上続けましたし、最近はおオムラサキの調査を続けています。また、観察会では貴重種や珍種、巨木などに会うこともあります。

月 1 回の例会は主に篠山市内の山、樹林、草地、川などを自然観察して、会報に観察記録の記載とカラー写真の記録集を発行しています。時には専門家を招き指導を乞うこともあります。さらに隣の丹波市、三田市他近畿地方各地や年 1 回は信州方面などへ宿泊をしてバスで出かけて見分を広めています。また年末懇親会は「野生を食す」を目的に昔から食してきた珍味を賞味しています。

毎月の例会参加にノルマは無く、申し込みもせず、各自が集合場所にくるといふ、緩やかなルールで進めています。そのためか会員はいつも 100 人以上で、現在会員 130 人、年会費 1000 円で運営しています。



妙高山のクリンソウの保護活動の報告について

妙高山のクリンソウを守る会

絶滅の危機にあるクリンソウの群生地が、妙高山麓で平成 22 年地元の山野草愛好家の女性 2 名に発見され、群生地が国有地内にあることから兵庫森林管理署に許可をいただき、群生地や林道を有償借用し、平成 24 年 5 月鴨庄地区自治振興会や地元の山野草愛好家の皆さんで「妙高山のクリンソウを守る会」を設立し、地域ぐるみで群生地の保護と環境保全に努めております。

発見して 7 年目、今日までパワーアップ助成金や自治振興会の補助をいただき、保護柵の設置や林道整備(木造橋の設置等)、立看板・のぼりの掲出など保護施策を実施して、お陰様で群生地も拡大し毎年美しい花が咲いております。花は一茎に通常 5～6 段に咲きますが、平成 26 年と 28 年には 9 段の花が咲き見事でした。

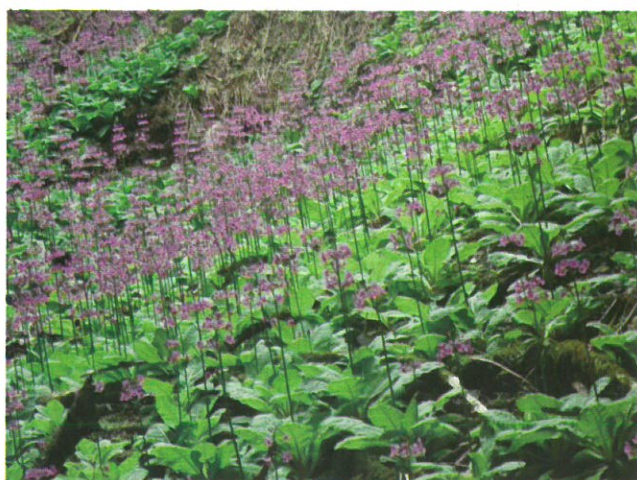


入山口（県道神池寺線沿い）



林道の木造橋

花の見頃期は、最近の異常気象で若干のずれはありますが 5 月中ごろです。この時期には会員による観賞会を実施しておりますので、一般の方もぜひお越しください。参加は無料です。



平成 29 年の花



9 段のクリンソウ

妙高山のクリンソウを守る会事務局

0795-85-2457(鴨庄コミセン内)

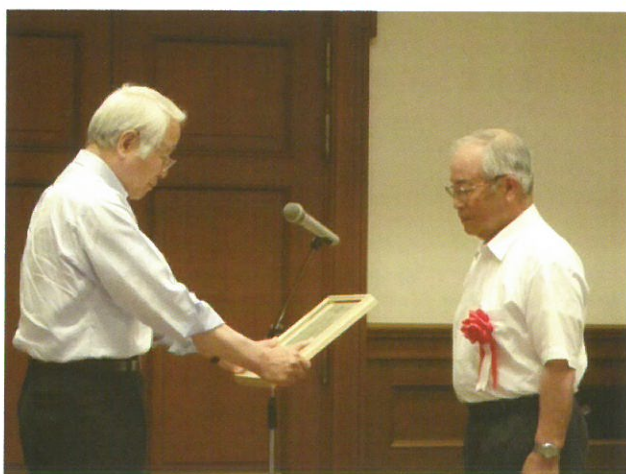


「環境保全功労者知事表彰」受賞おめでとうございます

平成 29 年 6 月 5 日に「地球と共生・環境の集い 2017」が兵庫県公館で開催され、パートナーシップ会議のメンバーである「兵庫丹波オオムラサキの会」と「丹波野鳥の会」が平成 29 年度環境保全功労者知事表彰を受賞されました。

兵庫丹波オオムラサキの会は、丹波地域で棲息が危ぶまれる準絶滅危惧種の国蝶オオムラサキの復活を中核とした生物多様性・里山保全活動を、丹波野鳥の会は、探鳥会や野鳥の調査を通じて自然を愛する仲間づくりと豊かな心を育てる活動を行っており、両者の活動が地域の自然環境保全の推進に尽力されていると評価されました。

また、丹波市市島町にある「ダンロップスポーツ株式会社市島工場」が工場緑化の取り組みやオオムラサキの育成、省エネの推進などが評価され「第 26 回兵庫県環境にやさしい事業者賞」を受賞されました。



兵庫丹波オオムラサキの会 樋口会長



丹波野鳥の会 梅津会長

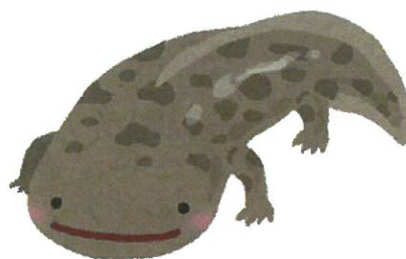


ダンロップスポーツ(株)市島工場





クリンソウ 兵庫県版レッドデータブックBランク
クリンソウ群生地(篠山市多紀連山:植物群落Aランク)



バイカモ 兵庫県版レッドデータブックBランク
(丹波市青垣町内にて撮影)



次号予告

- 丹波地域の希少動植物の紹介
- 活動報告 etc.

発行時期：平成30年 秋頃（予定）

